

# 平成30年度 授業改善推進プラン 学年メモ

1年

	児童の実態	学習指導の課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	具体目標	3月 成果と課題
国語	<p>○文字を全く書けない、読めない児童はいない。しかし、気持ちを表す文章を書かせたり、「は」「へ」「を」の正しい表記では個人差が大きく、個別指導の必要な児童も学級に数人いる。</p> <p>○音読の際、ひろい読みになってしまう児童がいる。</p>	<p>○長音、拗音、促音などや「は」「を」「へ」の正しい表記を意識させて書かせる機会が少なかった。</p> <p>○教科書に限らず、いろいろな物語などの読み聞かせをする時間の確保が足りなかった。</p>	<p>○平仮名の50音の習熟に努めるとともに、リズム打ちなど読む際の支援を工夫する。</p> <p>○長音、拗音、促音を意図的、計画的に復習したり、表記したりする機会を設ける。</p>	<p>○授業時だけでなく、朝学習や家庭学習など、様々な機会をとらえ、繰り返し音読に親しませる。</p> <p>○詩や文の視写などを通して、漢字、仮名混じり文にも親しませる。</p>	<p>○全児童が言葉の意味や場面の様子に気を付けながら、音読することができる。</p> <p>○児童が意識して、正しい表記で書くことができる。</p>	
算数	<p>○意欲的に作業に取り組み、楽しんで学習を進める。</p> <p>○計算などの作業や時刻をよむなどの理解には時間がかかる児童が数人いる。</p> <p>○自分の考え方を表現する力はまだ不十分である。</p>	<p>○10までの数の合成、分解を定着させることが不十分だった。</p> <p>○加法、減法が用いられる場面について題意を理解させるための手だてが足りなかった。</p> <p>○自分の意見をまずもつ時間をしっかりと確保することが不十分であった。</p>	<p>○10までの数の合成、分解をゲーム形式で行わせることで、楽しみながら主体的に練習を行うことで定着を図る。</p> <p>○問題作りを行い、友達と問題を出し合うことで、加法で使う言葉、減法で使う言葉を身に付けさせる。</p>	<p>○10までの数の合成、分解を行うゲームやます計算を取り入れ、計算力を高める。</p> <p>○絵や図で自分の考えを描かせて具体的な場面をイメージし、問題を把握できるようにする。</p> <p>○ブロックなどの教具の操作場面を多く設定することで、数の概念を作る。</p>	<p>○指やブロックを使わずに、児童が速く正確に計算することができる。</p> <p>○全児童が、自分の考えを説明したり、友達の説明を聞いたりして、問題場面を把握できる。</p>	
生活	<p>○自然事象や動植物に対する関心が高く、活動に意欲的に取り組み、友達と協力する姿が見られる。</p> <p>○観察の視点を伝えても、観察を十分に行わず、イメージで書き表してしまう児童が見られる。</p>	<p>○観察のポイントを明確にして書くように指導することが不十分であった。</p>	<p>○観察をする前に、どこに着目するかポイントを絞って意識させ、記録をする前に友達と発見したことを意見交換をすることで、自然事象の不思議さに気付かせる。</p>	<p>○野外へ出て自然と触れ合う機会をつくり、四季の変化を体で感じながら、繰り返し自然を観察させ、自然に親しみをもたせる。</p>	<p>○自分の思いをもってすすんで自然と関わり、観察したり、気付いたことを書き表したりすることができる。</p>	
体育	<p>○体を動かすことが好きで、どの領域の運動も楽しく取り組む。</p> <p>○水遊びやボールゲームなどで、運動体験が少なく自分の体をうまく動かせない児童が見られる。</p>	<p>○筋力を付ける運動や敏捷性を高める運動、固定遊具を使った運動の機会を設けることが少なかった。</p>	<p>○どの児童も取り組めるような多様な動き(ぶら下がり、とび上がり、とび下り)を紹介しカードを用いることで、できる技を増える喜びを感じさせ、自ら運動に取り組ませる。</p> <p>○友達の技を見合い教え合う場を設けることで、できない技に取り組もうとする意欲をもたせる。</p>	<p>○様々な動きに挑戦させ、動きを組み合わせたり、スムーズな動きを工夫させたりする。</p>	<p>○うんていや登り棒、鉄棒に楽しんで取り組むことができる。</p> <p>○全児童が、姿勢操作の力や基礎的な動き、バランス感覚を身に付けることができる。</p>	